防災対策に資する

南海トラフ地震

調査研究プロジェクト

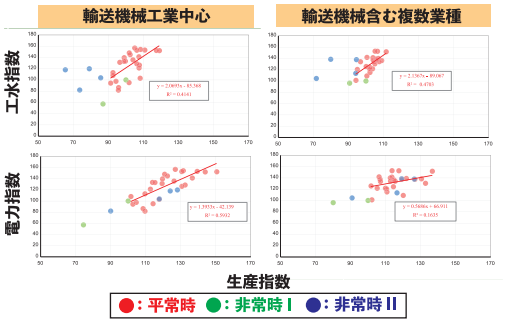
サブ課題2　地震防災情報創成研究

(e)発災時の企業の事業活動停止を防ぐ

臨時情報を活かした被害軽減のため，社会のモニタリングデータを活用したリアルタイムな社会様相の把握を可能とし，様々な階層における事態想定シミュレーション手法を開発し，発災時の企業の事業活動停止を防ぐための実践的な取り組みを構築する。

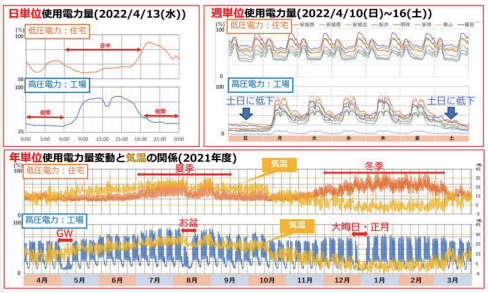
産業復旧タイムラインの構築

工業用水・電力使用量と生産量の関係性を確認



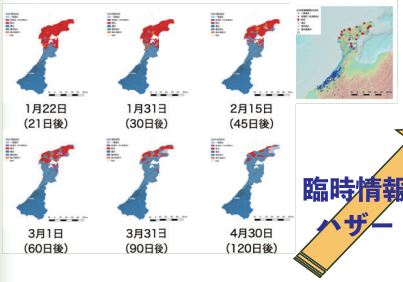
地域特性を考慮した上で、リアルタイム監視が可能な電力・工業用水の使用量による予測可能性を見出した

電力データの規則的な周期特性の把握
自然災害時の使用電力変動の特徴把握



社会活動状況の変化に伴い使用電力量に傾向が明確に現れ、災害時の社会状況把握に有用である

R6 能登半島地震でのライフライン状況把握

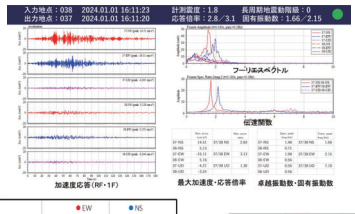


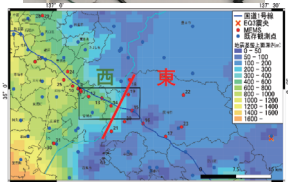
動的な被害把握手法の開発

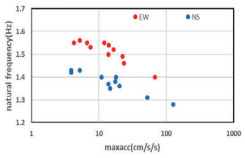
リアルタイム被災状況把握に向けた地域高密度モニタリング

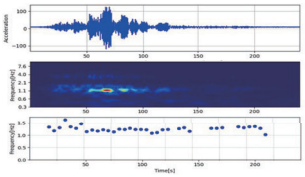
観測機器
MEMS 地震計

データサーバ
観測状況表示

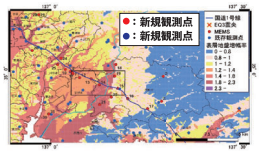






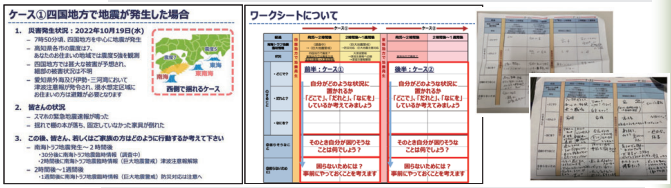


リアルタイム地域モニタリングの基盤技術開発
被災状況把握、災害対応、訓練に活用



地域を俯瞰した被災シナリオ構築

南海トラフ地震臨時情報対応ワークシート



臨時情報発表時の社会事象と要因の推定

地域社会の
様相把握

地域産業の
構造
依存関係

対応・行動
シナリオ

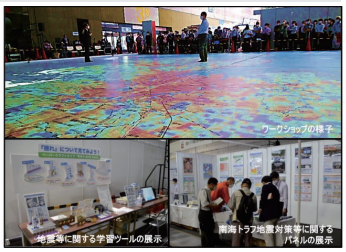
臨時情報机上演習シナリオを構築

半割れシナリオワークショップ

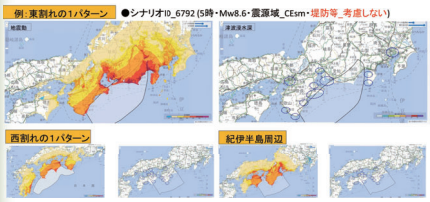
臨時情報の
ハザード

南海トラフ地震臨時情報机上演習の実践

地域研究会との連携・展開
防災ワークショップ 2022



サブ課題 2(g) との連携



BCP 見直し・研修への展開

↓

南海トラフ地震対策へ

職員の BCP・防災意識の向上

臨時情報机上演習・BCP 研修前：
23.4 点
↓
臨時情報机上演習・BCP 研修後：
43.7 点

令和 6 年度 成果報告会